

瑞穂市都市計画マスタープラン

1. 全体構想編における修正事項等

2. 全体構想編における主要事業

3. 地域別構想編

- ・ 生津地域
- ・ 本田地域
- ・ 穂積地域
- ・ 牛牧地域
- ・ 南地域
- ・ 中地域
- ・ 西地域

4. 今後のスケジュール

1. 全体構想編における修正事項等

これまでの都市計画マスタープランの協議等の経緯

年度	月	庁内調整会議	市民意向聴取	都市計画審議会	その他
H26			・アンケート調査 総計		
H27	1～3月	・部会 協議(全体構想案) ・委員会 協議(全体構想案)	・地域別懇談会 総計		
H28	4～6月	・部会 協議(全体構想案)			
	7～9月	・委員会 協議(全体構想案)			
	10～12月	・部会 協議(地域別構想案) ・委員会 協議(地域別構想案)		・審議会 (10/21) 協議(全体構想案)	
H28	1～3月	・部会 協議(案全体) ・委員会 協議(案全体)	・地域別懇談会 意見聴取 (地域別構想案等) ・南地域(1/11) ・中地域(1/12) ・西地域(1/13) ・生津地域(1/16) ・本田地域(1/17) ・穂積地域(1/18) ・牛牧地域(1/19) ・パブリックコメント 意見募集(1/11～31)	・審議会 (3/30) 協議 (地域別構想案)	

1. 全体構想編における修正事項等

○全体構想編の修正箇所

P3 計画対象期間 ⇒ 目標年次 へ表現を修正

P17 「参考：本市の人口ビジョン推計値と岐阜県の人口ビジョン推計値」
のグラフを追加

P21・23・28・32・38・43・48・53

樽見鉄道美江寺駅・横屋駅の活用、朝日大学周辺の都市機能の活用に
考慮した拠点の区域に修正

P22・31・46

地域の活性化に寄与する新たな産業の検討を追加

P24・25・28 巣南庁舎周辺地区に市民交流拠点を追加

P37 樽見鉄道、交通弱者対策の重視について文章を追加

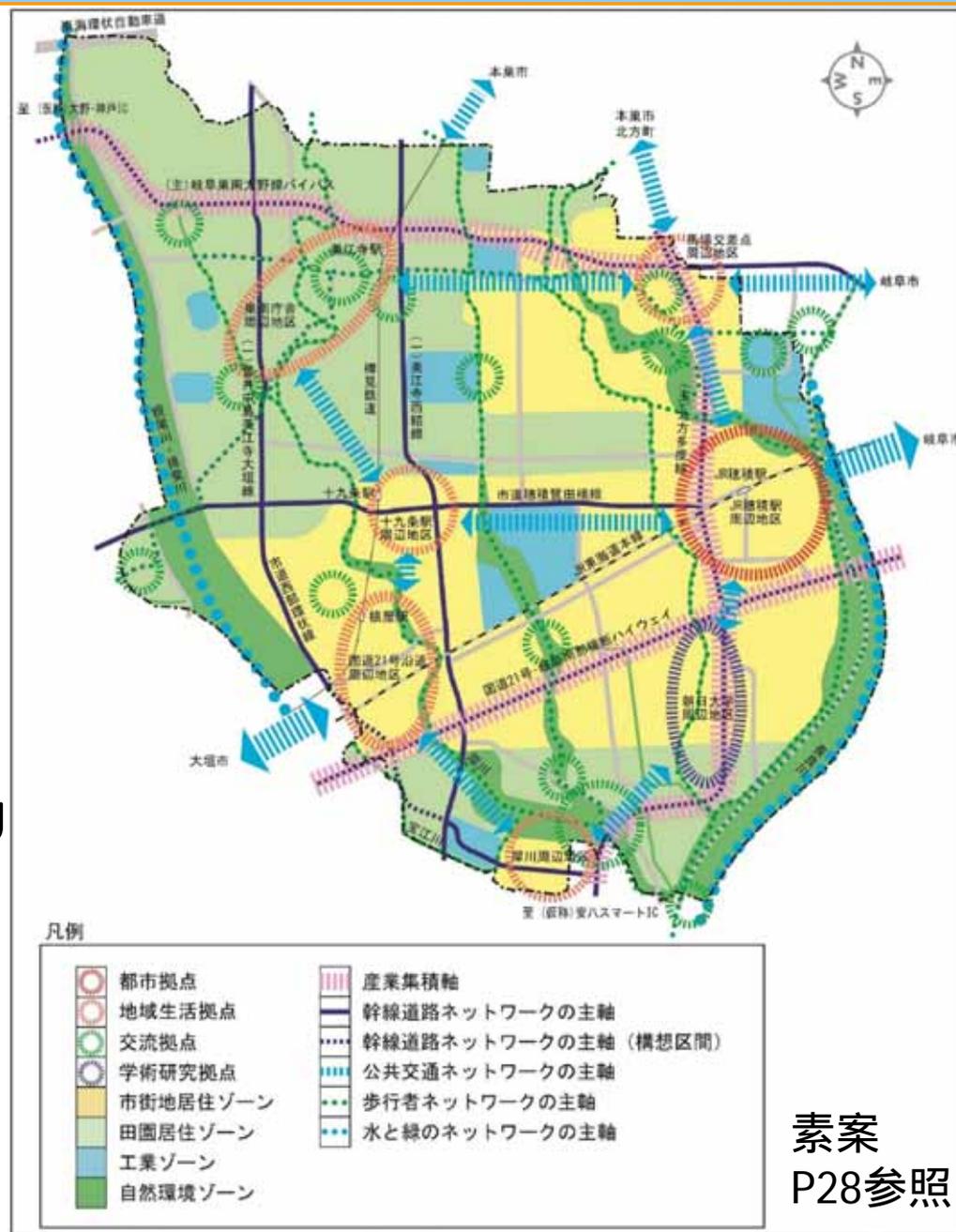
P40 親水空間の活用について「スポーツ等の活動の場」の表現を追加

P53 主要な防災活動拠点として、牛牧北部防災コミュニティセンターと
国が計画する防災拠点を追加

1. 全体構想編における修正事項等

○拠点の考え方

- 主要な動線を活かす
〈国道、県道等や都市計画道路〉
- 市民生活を支える各種機能の集積を活かす
〈商業、医療、福祉などの施設〉
- 高齢化社会を意識した公共交通（JR、樽見鉄道、バス）との連携
〈自動車以外の市民の足の確保と活用〉



1. 全体構想編における修正事項等

○拠点について

機能	拠点名	J R穂積駅周辺	朝日大学周辺地区	果南庁舎周辺地区	馬場交差点周辺地区	犀川周辺地区	十九条駅周辺地区	国道 21 号沿道周辺地区
方向性(位置付け)		都市拠点	地域生活拠点 学術研究拠点	地域生活拠点	地域生活拠点	地域生活拠点	地域生活拠点	地域生活拠点
拠点存在地域人口		穂積地域(14, 141 人)	穂積地域(14, 141 人)	西地域(4, 411 人) 中地域(3, 382 人)	生津地域(4, 925 人)	牛牧地域(11, 642 人)	牛牧地域(11, 642 人)	南地域(5, 476 人)
公共交通(鉄道)		J R 東海道本線(JR 穂積駅)	—	樽見鉄道(美江寺駅)	—	—	樽見鉄道(十九条駅)	樽見鉄道(横屋駅)
駅利用者		H26 年間 3, 173, 106 人 H26 日 8, 693 人	—	H26 年間 647, 196 人 H26 日 1, 773 人	—	—	H26 年間 647, 196 人 H26 日 1, 773 人	H26 年間 647, 196 人 H26 日 1, 773 人
公共交通(バス)		岐阜バス みずほバス	みずほバス	岐阜バス みずほバス	岐阜バス みずほバス	みずほバス	みずほバス	みずほバス
主要な道路		国道 21 号 (主)北方多度線	(主)北方多度線	(一)曾井中島美江寺大坂線	(主)北方多度線 (主)岐阜果南大野線	(主)北方多度線 市道西部環状線	(一)穂積果南線 (一)美江寺西結線	国道 21 号 市道西部環状線
主要な道路交通量		国：48, 614 台/12h 北：17, 232 台/12h	北：9, 673 台/12h	曾：11, 545 台/12h	北：17, 232 台/12h 岐：10, 123 台/12h	北：9, 673 台/12h	穂：9, 718 台/12h 美：8, 294 台/12h	国：35, 508 台/12h
公共施設等		瑞穂市役所 総合センター 市民センター	朝日大学	瑞穂市役所果南庁舎 果南公民館 図書館分館	—	—	牛牧北部防災コミュニ ティセンター	—
金融機関		金融機関 6	—	金融機関 3	金融機関 3	—	金融機関 1	—
医療機能		診療所(内 3、外 1、耳 1、産 1、皮 2、泌 1、 歯 2)	朝日大学歯学部付属病院 診療所(内 1、外 1)	診療所(内 1、歯 2)	診療所(内 1、外 1、耳 1、産 1、皮 1、歯 4)	—	診療所(小児 1、歯 2)	—
福祉機能		福祉施設 5 介護施設 5	—	福祉施設 1 介護施設 1	福祉施設 1 介護施設 1	介護施設 1	介護施設 1	介護施設 3
商業機能		スーパー類 4	スーパー類 3	スーパー類 2	スーパー類 3	スーパー 1	スーパー類 3	—

2. 全体構想編における主要事業

現計画に基づく、これまでの主な実施事業

分野	主な事業名称	地域名	実施機関	進捗の状況
道路・交通づくり	国道 21 号の 6 車線化	穂積地域、牛牧地域	国	継続
	都市計画道路（本田別府線）の歩道整備	本田地域	市	完了
	東海環状自動車道の整備	西地域	国	継続
	岐阜県南大野線バイパスの整備	中地域、西地域	県	継続
	市道西部環状線の整備	牛牧地域、南地域	市	継続
	駅周辺のバリアフリー	穂積地域	市	完了
水・緑づくり	さい川さくら公園整備	牛牧地域	市	完了
	上牛牧ふれあい公園整備	牛牧地域	市	完了
	野田公園整備	牛牧地域	市	完了
	野口公園整備	穂積地域	市	完了
	井場公園整備	穂積地域	市	完了
	河川プロムナード整備	穂積地域	市	継続
市街地づくり	犀川地区地区計画の指定	牛牧地域	市	完了
	宝江地区地区計画の指定	牛牧地域	市	完了
	瑞穂準都市計画区域の指定	中地域、西地域	県（市）	継続（土地利用ルールの見直し）
都市環境づくり	新堀川放水路整備	牛牧地域	国、県	完了
	天王川放水路整備	生津地域	県	完了
	長護寺川の改修	西地域	県	継続

2. 全体構想編における主要事業

本計画で位置づけている主な事業

分野	主な事業名称	地域名	実施機関
道路・交通づくり	国道 21 号の 6 車線化の促進	穂積地域、牛牧地域	国
	東海環状自動車道の整備	西地域	国
	岐阜県南大野線バイパスの整備	中地域、西地域	県
	市道西部環状線の整備	牛牧地域、南地域	市
	J R 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	本田地域、穂積地域	市
	中山道整備事業	生津地域、本田地域、中地域、西地域	市
	バス路線の運行路線・本数等の見直し検討	全体	市
水・緑づくり	公共下水道の整備	全体	市
	公園整備	全体	市
	桜並木・河川周辺緑地の適切な保存・管理	全体	市
市街地づくり	J R 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	本田地域、穂積地域	市
	県南庁舎周辺地区における交流拠点の形成	西地域	市
	朝日大学周辺地区における学術研究拠点の形成	穂積地域	市
	国道 21 号沿道周辺地区の整備検討	南地域	市
	準都市計画区域の土地利用ルールの検討	中地域、西地域	市
都市環境づくり	雨水排水施設の整備	全体	市
	橋梁の耐震化等	全体	県・市
	緊急輸送道路沿道における建築物の耐震化の推進	全体	市
	犀川・長護寺川等の改修	牛牧地域、西地域	国・県・市

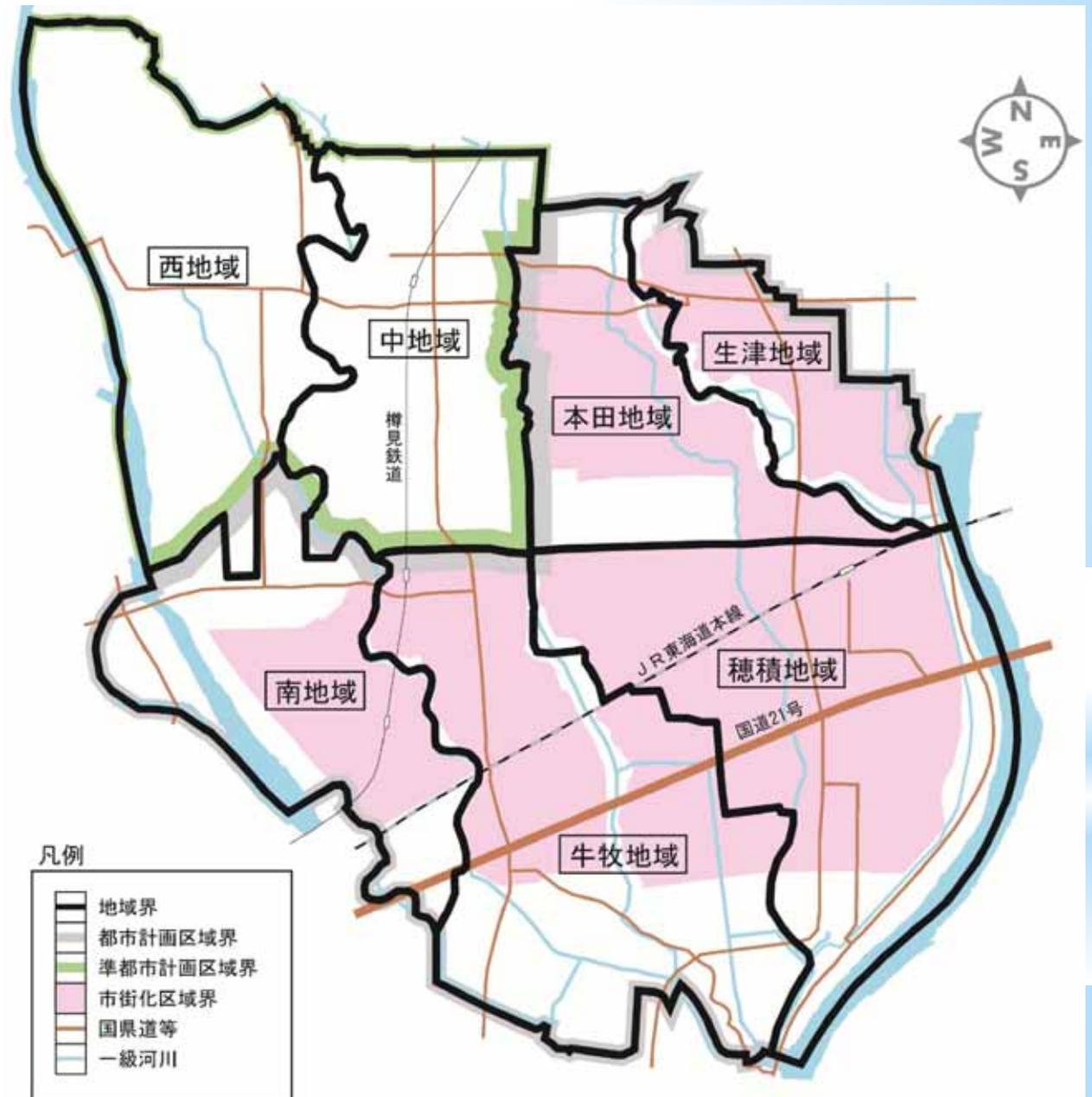
3. 地域別構想編

■ 地域別の地区区分

◆ 地域別構想編では、全体構想編の内容や、地域の特性を考慮しながら、各地域のまちづくりの方向性を定めます。

◆ 地域区分にあたっては、改定前の7つの小学校区による区分を継承します。

この7つの地域区分は、自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件、関連計画や市民の日常生活等においても、基本となっていることを勘案し、設定しています。



■土地利用・都市施設等の現況

- ◆ほぼ全域で土地区画整理事業により基盤が整備されています。
- ◆幹線道路沿道、天王川周辺において、産業機能の集積が進んでいます。
- ◆都市計画道路は3路線あり、すべて整備が完了しています。
- ◆都市計画公園は9箇所あり、すべて整備が完了しています。

■地域づくりの主要課題

- ◆馬場交差点周辺における生活に身近な機能・施設の維持・誘導・集積
- ◆住環境と操業環境の調和
- ◆甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり

■地域づくりの方針

充実した都市基盤を活かした産業と住宅地が共生した利便性の高い地域づくり

- ◆馬場交差点周辺において、生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等を維持、不足等が生じた場合には集積し、利便性の高い地域生活拠点の形成を図ります。
- ◆幹線道路沿道において、交通利便性の高さを活かした産業（商業、工業、流通・業務等）の積極的な誘導により、産業機能のより一層の強化を図ります。
- ◆都市基盤の整備、長良川、糸貫川等の自然環境の保全・活用や市街地の緑化を推進し、良好な住環境の形成を図ります。

3. 地域別構想編

生津地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（周辺・郊外居住）	地域中部・北部	
	住工共存地	地域南部	
	工業地	地域南東部	
	沿道複合地	(主)北方多度線沿い、(主)岐阜巣南大野線沿い	
	農地・集落地	地域北部	
	自然環境地	糸貫川	
道路・交通	幹線道路	(主)北方多度線 (主)岐阜巣南大野線	
	公共交通	バス	岐阜バス(美江寺・穂積線、大野・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	馬場交差点周辺
		健康づくり拠点・市民交流拠点	馬場公園、生津スポーツ広場、糸貫川河川公園
		歴史・文化交流拠点	河渡宿（岐阜市）
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	生津小学校等
		身近な健康・交流拠点	馬場公園等の都市公園
身近な自然・交流拠点	糸貫川のアジサイ		

3. 地域別構想編

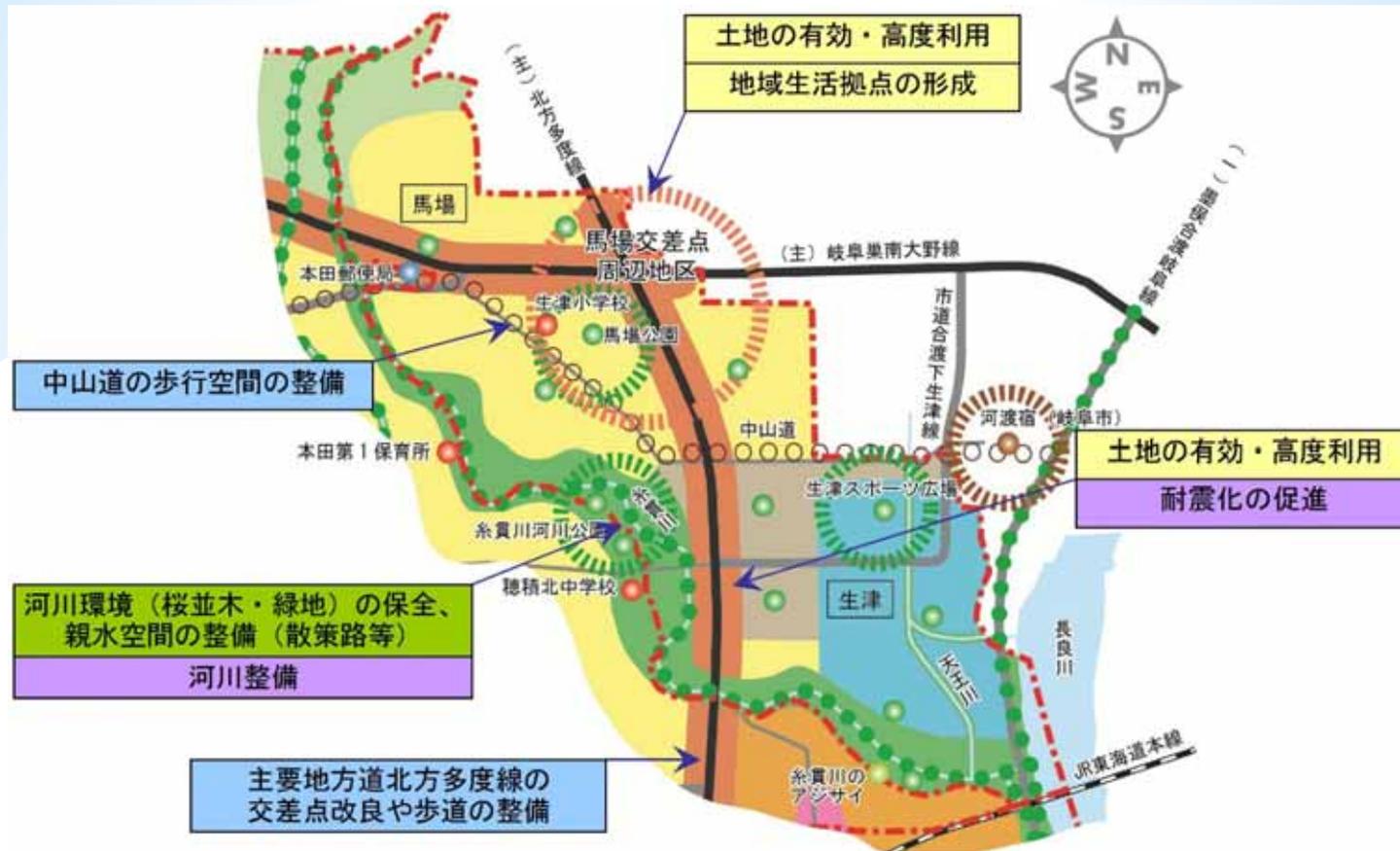
生津地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備	・幹線道路へのアクセス性向上や安全な歩行空間を形成するため、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光・交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
水・緑づくり	糸貫川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地づくり	土地の有効・高度利用（馬場交差点周辺、幹線道路沿道、工業地、住工共存地）	・土地の有効・高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制・誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	地域生活拠点の形成（馬場交差点周辺）	・生活利便施設の維持・集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	市街地環境の維持・保全	・既成市街地の土地利用状況に見合った用途地域等の見直しを行い、適正な土地利用の規制・誘導を図ります。	【市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	糸貫川等の河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、河川整備を促進します。	【県】
	市街地防災性の向上（緊急輸送道路沿道等）	・被災時に防災拠点間を連絡する緊急輸送道路沿道の耐震化や木造住宅密集地の耐震化を促進し、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】

3. 地域別構想編

生津地域



凡例

住宅地（街なか居住）	地域生活拠点	幹線道路
住宅地（周辺・郊外居住）	歴史・文化交流拠点	補助幹線道路
商業地	健康づくり拠点・市民交流拠点	その他の主要な生活道路
住工共存地	歩行者ネットワーク（歴史街道）の主軸	身近な防災拠点
工業地	歩行者ネットワーク（沿川等）の主軸	身近な健康・交流拠点
沿道複合地		身近な自然・交流拠点
農地・集落地		その他の施設
自然環境地		
河川		

＜地域全般に関する施策＞

安全な歩行空間の整備（全体総額76億円）
公共交通の充実（全体総額73億円）
身近な緑地の保全、公共施設や民有地の緑化（全体総額70・41億円）
公共下水道の整備（全体総額641億円）
橋梁の耐震化（全体総額50億円）
建築物の耐震化・不燃化（全体総額50億円）
景観計画の策定（全体総額51・52億円）

■土地利用・都市施設等の現況

- ◆近年は人口流入が著しく、点在的な住宅建設が進んでいます。
- ◆大小さまざまな規模の工場が点在しています。
- ◆都市計画道路は3路線あり、すべて整備が完了しています。
- ◆本田団地が整備されています。

■地域づくりの主要課題

- ◆低未利用地の計画的な活用による良好な市街地環境の形成
- ◆JR穂積駅周辺における都市拠点にふさわしいまちづくりの推進
- ◆中山道・本田延命地蔵など街並みの保全・活用

■地域づくりの方針

ゆとりある街並みの住宅地と歴史・自然が調和した新たな定住の場となる地域づくり

- ◆多面的機能を有する農地や河川等の自然環境に配慮した、低未利用地の計画的な活用により、良好な都市基盤を備えたゆとりある街並みの住宅地の形成を図ります。
- ◆JR穂積駅周辺、主要地方道岐阜南大野線などの幹線道路沿道における商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積により、人口増加に対応した生活利便性の向上を図ります。
- ◆五六川、糸貫川等の河川、中山道の往時をしのばせる街並みなどを活用し、地域の魅力向上と活性化を図ります。

3. 地域別構想編

本田地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（街なか居住）	地域南東部	
	住宅地（周辺・郊外居住）	地域中部	
	工業地	地域北西部	
	沿道複合地	(主)北方多度線沿い、(主)岐阜巣南大野線沿い	
	農地・集落地	地域北部・南西部	
	自然環境地	糸貫川	
道路・交通	幹線道路	(主)北方多度線 (主)岐阜巣南大野線	
	公共交通	バス	岐阜バス(美江寺・穂積線、大野・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)
拠点	都市拠点レベル	都市拠点	JR 穂積駅周辺
		健康づくり拠点・市民交流拠点	せせらぎ公園、糸貫川河川公園
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	本田コミュニティセンター等
		身近な健康・交流拠点	せせらぎ公園等の都市公園
		身近な歴史・文化拠点	本田延命地蔵等
身近な自然・交流拠点	本田農園		

3. 地域別構想編

本田地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道・休憩施設等の整備、誘導サインの設置等により、観光・交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	JR穂積駅周辺へのアクセス性の強化	・JR穂積駅周辺の賑わい創出や交流拡大を図るため、アクセス性向上、安全な歩行者空間を確保します。	【事業者、市】
水・緑づくり	糸貫川、五六川、中川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	農地の保全	・農地の持つ多面的機能（食料生産・防災・景観等）を考慮し、保全します。	【地域住民、市】
市街地づくり	市街地の防災性の向上（JR穂積駅周辺等）	・地区計画制度等の活用により、狭あい道路の解消、オープンスペースの確保等、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】
	計画的な市街地整備（土地区画整理事業等）	・まとまった低未利用地の計画的な活用により、都市基盤（道路・公園等）が整備された、良好な住宅地の形成を図ります。	【地域住民、市】
	都市拠点の形成（JR穂積駅周辺）	・地域住民、事業者、行政の連携による具体的計画のもと、まちの顔としてふさわしい都市機能（商業、交流、医療・福祉、中高層住宅等）の集積、都市空間・都市景観の形成、交通結節点機能の向上等を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	中川等の河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、河川整備を促進します。	【県】
	市街地防災性の向上（緊急輸送道路沿道等）	・被災時に防災拠点間を連絡する緊急輸送道路沿道の耐震化や木造住宅密集地の耐震化を促進し、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】

3. 地域別構想編

本田地域

河川環境（桜並木・緑地）の保全、
親水空間の整備（散策路等）
河川整備



交通結節機能の強化
市街地の防災性の向上
都市拠点の形成

土地区画整理事業等による
計画的な市街地整備

<地域全般に関する施策>

- 安全な歩行空間の整備 (全線整備)
- 公共交通の充実 (全線整備)
- 公園の整備 (全線整備)
- 公共下水道の整備 (全線整備)
- 農地の保全 (全線整備)
- 橋梁の耐震化 (全線整備)
- 建築物の耐震化・不燃化 (全線整備)
- 景観計画の策定 (全線整備)

凡例

住宅地（街なか居住）	都市拠点	幹線道路
住宅地（周辺・郊外居住）	健康づくり拠点・市民交流拠点	補助幹線道路
商業地	歩行者ネットワーク（歴史街道）の主軸	その他の主要な生活道路
工業地	歩行者ネットワーク（沿川等）の主軸	身近な防災拠点
沿道複合地		身近な健康・交流拠点
農地・集落地		身近な歴史・文化拠点
自然環境地		身近な自然・交流拠点
河川		その他の施設

■土地利用・都市施設等の現況

- ◆ JR穂積駅周辺は駐車場などの低未利用地が多く、商業用地の減少が目立ちます。
- ◆ 国道・JRの沿線に大小さまざまな規模の工場が集積し、また、工業跡地への複合型商業施設が立地するなど、沿道利用が進んでいます。
- ◆ 都市計画道路は7路線あり、すべて整備が完了しています。
- ◆ JR穂積駅周辺には狭あい道路や木造住宅が密集しています。

■地域づくりの主要課題

- ◆ JR穂積駅周辺における都市拠点にふさわしいまちづくりの推進
- ◆ 幹線道路沿道等の計画的な活用による商工業系土地利用の一層の充実
- ◆ 用途混在の解消や住環境と操業環境の調和

■地域づくりの方針

まちの顔としての都市空間が形成され、多様な都市機能が集積した、賑わいと交流が生まれる地域づくり

- ◆都市基盤（公園・緑地、下水道等）の整備推進や、用途混在の解消や操業環境との調和、市街地の防災性の向上により、安全で快適な住環境への改善を推進します。
- ◆JR穂積駅周辺において、まちの顔としてふさわしい都市機能の集積、交通結節機能の強化、都市空間整備を推進し、多様な交流を促進します。
- ◆交通利便性の高さを活かし、国道21号や主要地方道北方多度線などの幹線道路沿道において、都市活力の向上に資する産業（商業、工業、流通・業務等）の集積を図ります。

3. 地域別構想編

穂積地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用		住宅地（街なか居住）	地域北東部
		住宅地（周辺・郊外居住）	地域北西部・中部
		商業地	JR 穂積駅周辺(地域北東部)
		工業地	地域西部
		沿道複合地	国道 21 号沿い、(主)北方多度線沿い
		農地・集落地	地域南部
		自然環境地	長良川、五六川
道路・交通	幹線道路	国道 21 号・岐阜南部横断ハイウェイ、(主)北方多度線、(市)穂積鷺田橋線	
	公共交通	鉄道	JR 東海道本線(JR 穂積駅)
		バス	岐阜バス(大野・穂積線) みずほバス(十九条・古橋線、本田・唐栗線、牛牧・穂積線)
拠点	都市拠点レベル	都市拠点	JR 穂積駅周辺
		地域生活拠点・学術研究拠点	朝日大学周辺
		歴史・文化交流拠点	墨俣一夜城（大垣市）
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	市民センター、総合センター等
		身近な健康・交流拠点	都市公園等
		身近な歴史・文化拠点	図書館、観音院等
		身近な自然・交流拠点	中川（しづき）、五六川（いかり）

3. 地域別構想編

穂積地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の整備	・活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、完全6車線化等の整備を促進します。	【国】
	主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備	・JR穂積駅周辺へのアクセス性向上や安全な歩行空間を形成するため、整備を促進します。	【県】
	JR穂積駅周辺における交通結節機能の強化	・駅周辺の賑わい創出や交流拡大のため、駅前広場、アクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【事業者、市】
水・緑づくり	五六川、中川、天王川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地づくり	市街地の防災性の向上（JR穂積駅周辺等）	・地区計画制度等の活用により、狭あい道路の解消、オープンスペースの確保等、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】
	土地の有効・高度利用（JR穂積駅周辺、朝日大学周辺、幹線道路沿道、住工共存地）	・土地の有効・高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制・誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	都市拠点の形成（JR穂積駅周辺）	・地域住民、事業者、行政の連携による具体的計画のもと、まちの顔としてふさわしい都市機能（商業、交流、医療・福祉、中高層住宅等）の集積、都市空間・都市景観の形成、交通結節点機能の向上等を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	学術研究拠点の形成（朝日大学周辺）	・産学官の連携のもと、学術研究機能の強化、健康・医療・福祉産業等の集積、生活利便施設の立地誘導等、地区計画制度等の活用により、学術研究拠点の形成を進めます。	【事業者、市】
	市街地環境の維持・保全	・既成市街地の土地利用状況に見合った用途地域等の見直しを行い、適正な土地利用の規制・誘導を図ります。	【市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	中川、天王川等の河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、河川整備を促進します。	【県】
	市街地防災性の向上（緊急輸送道路沿道等）	・被災時に防災拠点間を連絡する緊急輸送道路沿道の耐震化や木造住宅密集地の耐震化を促進し、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】
	防災活動拠点の防災機能の向上（市役所等）	・防災活動拠点である公共公益施設などの防災機能の向上を図ります。	【市】

3. 地域別構想編

穂積地域



■土地利用・都市施設等の現況

- ◆近年は人口流入が著しく、住宅建設など、宅地化が急速に進んでいます。
- ◆幹線道路沿道を中心に大小さまざまな規模の商業・工場が立地し、点在的な住宅の開発により、土地利用の混在が進んでいます。
- ◆都市計画道路は5路線あり、一部区間を除き整備が完了しています。
- ◆犀川周辺地区では土地区画整理事業により基盤が整備されています。また、牛牧団地や大規模な公園（五六川親水公園、さい川さくら公園）が整備されています。

■地域づくりの主要課題

- ◆犀川周辺・十九条駅周辺における生活に身近な機能・施設の誘導・集積
- ◆幹線道路沿道等の計画的な活用による商工業系土地利用の一層の充実
- ◆河川の自然・親水環境、田園地帯や犀川遊水地等の自然環境の保全・活用、治水対策の推進

■地域づくりの方針

豊かな自然と調和し、安全で快適に暮らし続けられる地域づくり

- ◆犀川周辺地区や十九条駅周辺地区、幹線道路沿道等において、生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積を図るとともに、用途混在の解消や操業環境との調和、市街地の防災性の向上や治水対策の推進により、安全で快適な住環境の形成を図ります。
- ◆交通利便性の高さを活かし、国道21号などの幹線道路沿道において、都市活力の向上に資する産業（商業、工業、流通・業務等）の集積を図ります。
- ◆河川（犀川、五六川等）や犀川遊水地の自然環境、田園風景等と調和した計画的な土地利用を推進します。

3. 地域別構想編

牛牧地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（周辺・郊外居住）	地域北西部・中部	
	商業地	犀川地区(地域南部)	
	住工共存地	地域北部・中部	
	工業地	地域北部・南西部	
	沿道複合地	国道21号沿い、(主)北方多度線沿い	
	農地・集落地	地域南部	
	自然環境地	長良川、五六川、犀川	
道路・交通	幹線道路	国道21号・岐阜南部横断ハイウェイ、(主)北方多度線、(一)美江寺西結線、(一)穂積崇南線、(市)穂積鷺田橋線、(市)西部環状線	
	公共交通	鉄道	樽見鉄道(十九条駅)
		バス	みずほバス(十九条・古橋線、牛牧・穂積線)
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	犀川周辺地区、十九条駅周辺
		健康づくり拠点・市民交流拠点	五六川親水公園、さい川さくら公園
		歴史・文化交流拠点	牛牧閘門、墨俣一夜城(大垣市)
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災流拠点	牛牧北部防災コミュニティセンター等
		身近な健康・交流拠点	五六川親水公園等
		身近な自然・交流拠点	犀川遊水地等

3. 地域別構想編

牛牧地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の整備	・活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、完全6車線化等の整備を促進します。	【国】
	市道西部環状線の整備	・南西部の地域生活拠点を連絡し、地域間を結ぶ道路として、整備を推進します。	【市】
	一般県道美江寺西結線の整備(JR高架下、忠太橋付近)	・幹線道路や緊急輸送道路としての機能を確保するため、未整備区間の整備を促進します。	【事業者、県】
水・緑づくり	犀川、五六川、中川等の河川環境(桜並木・緑地)の保全、親水空間の整備(散策路等)	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	公共用水域の水質保全(下水道の整備)	・良好な住環境の形成を図るため、都市計画区域内での公共下水道の整備を推進します。	【市】
	犀川遊水地を中心とした自然環境の保全	・優れた生態系を有する自然環境の保全・再生を図ります。	【地域住民、国、県、市】
市街地づくり	農地の保全	・農地の持つ多面的機能(食料生産・防災・景観等)を考慮し、保全します。	【地域住民、市】
	土地の有効・高度利用の推進(犀川地区、十九条駅周辺、幹線道路沿道、工業地・住工共存地)	・土地の有効・高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制・誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	市街化区域への編入検討(犀川地区)	・土地の有効・高度利用と良好な市街地環境の形成を図るため、市街化区域への編入を検討します。	【市】
都市環境づくり(防災、景観、環境)	地域生活拠点の形成(犀川地区、十九条駅周辺)	・生活便利施設の集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	犀川、五六川、新堀川等の河川整備	・犀川遊水地等の河川改修及び適正な維持・管理を促進します。	【国、県】
	犀川流域の治水安全度の向上(牛牧排水機場等)	・大雨による洪水被害を防止するため、排水機場の整備を促進し、治水安全度の向上を図ります。	【国、市】

3. 地域別構想編

牛牧地域



- ＜地域全般に関する施策＞
- 安全な歩行空間の整備 (全体総額760万円)
 - 公共交通の充実 (全体総額700万円)
 - 身近な公園の整備 (全体総額740万円)
 - 農地の保全 (全体総額741万円)
 - 流域治水対策 (全体総額750万円)
 - 橋梁の耐震化 (全体総額750万円)
 - 建築物の耐震化・不燃化 (全体総額750万円)
 - 景観計画の策定 (全体総額751・5万円)

凡例

住宅地 (周辺・郊外居住)	学術研究拠点	広域幹線道路
商業地	地域生活拠点	幹線道路
住工共存地	歴史・文化交流拠点	幹線道路 (構想区間)
工業地	健康づくり拠点・市民交流拠点	補助幹線道路
沿道複合地	主要な防災活動拠点	その他の主要な生活道路
農地・集落地	歩行者ネットワーク (沿川等) の主軸	身近な防災拠点
自然環境地		身近な健康・交流拠点
河川		身近な歴史・文化拠点
		身近な自然・交流拠点
		その他の施設

■土地利用・都市施設等の現況

- ◆横屋駅西側で住宅建設が進み、まとまった住宅地が形成されています。
- ◆幹線道路沿道に小規模な商業施設が点在しています。
- ◆都市計画道路は1路線あり、整備が完了しています。
- ◆横屋駅南側では市街化が進んでおらず、低密度な地域となっています。

■地域づくりの主要課題

- ◆都市施設や市街地整備の整備推進、防災機能の充実による良好な市街地環境の形成
- ◆国道21号周辺における生活に身近な機能・施設の誘導・集積
- ◆小簾紅園、中山道の街並み、河川の自然・親水環境の保全・活用

■地域づくりの方針

快適でゆとりある住環境と活力ある産業集積を備え、新たな魅力を生み出す地域づくり

- ◆低未利用地の計画的な活用により、良好な都市基盤を備えたゆとりある街並みの住宅地の形成を図ります。
- ◆都市間・拠点間の連絡を強化する市道西部環状線の整備を推進するとともに、国道21号沿道では、周辺環境との調和に配慮しながら、商業機能・住居機能等を形成する土地利用を検討します。
- ◆小簾紅園など中山道の往時をしのばせる歴史的資源、河川（揖斐川、犀川）や農地の自然環境の保全・活用を図ります。

3. 地域別構想編

南地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用		住宅地（周辺・郊外居住）	： 地域中部、南部
		沿道複合地	： 国道21号沿い
		農地・集落地	： 地域北部・西部・南部
		自然環境地	： 揖斐川
道路・交通	幹線道路	国道21号・岐阜南部横断ハイウェイ (一) 曾井中島美江寺大垣線 (一) 穂積巣南線 (市) 西部環状線	
	公共交通	鉄道	： 樽見鉄道(横屋駅)
		バス	： みずほバス(十九条・古橋線)
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	： 国道21号沿道周辺地区
		健康づくり拠点・市民交流拠点	： 南ふれあい広場
		歴史・文化交流拠点	： 小簾紅園
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	： 南小学校等
		身近な健康・交流拠点	： 南ふれあい広場等の公園
		身近な歴史・文化拠点	： 小簾紅園

3. 地域別構想編

南地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	岐阜南部横断ハイウェイ・国道21号の整備	・活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、完全6車線化等の整備を促進します。	【国】
	市道西部環状線の整備	・南西部の地域生活拠点を連絡し、地域間を結ぶ道路として、整備を推進します。	【市】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光・交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
水・緑づくり	犀川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	農地の保全	・農地の持つ多面的機能（食料生産・防災・景観等）を考慮し、保全します。	【地域住民、市】
市街地づくり	計画的な市街地整備（未利用地地区）	・駅等の交通結節機能と低未利用地の計画的な活用により、都市基盤（道路・公園）が整備された良好な住宅地等の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	計画的な新市街地の形成と市街化区域への編入検討（国道21号沿道）	・国道21号や幹線道路、駅が交わる地理的条件を活かし、土地区画整理事業により土地の有効・高度利用と良好な市街地環境の形成を図るため、市街化区域への編入を検討します。	【地域住民、事業者、市】
	地域生活拠点の形成（国道21号沿道周辺）	・交通結節機能の向上等を図り、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	犀川、宝江川等の河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、河川整備を促進します。	【県】
	小簾紅園の保全・活用	・歴史的な街並みや祭り等の伝統文化を保全するとともに、観光・交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、市】
	市街地の治水安全度の向上	・大雨による洪水被害を防止するため、内水対策を検討し、その整備を推進します。	【市】

3. 地域別構想編

南地域



■土地利用・都市施設等の現況

- ◆犀川と樽見鉄道の間はまとまった集落地があり、樽見鉄道の東側では田園地帯が広がっています。
- ◆工業導入地域として大規模な工場や運輸倉庫施設が集積しているところがありますが、商業施設は少ないです。
- ◆古くは美江寺宿が置かれ、歴史を感じさせる景観が残っています。
- ◆一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。

■地域づくりの主要課題

- ◆幹線道路沿道における生活に身近な機能・施設の誘導・集積
- ◆美江寺宿、中山道の街並み、河川の自然・親水環境の保全・活用
- ◆果樹園や花き生産農地、水田等の計画的な保全・整備
- ◆甚大な被害に備えた減災を考慮した地域づくり

■地域づくりの方針

香り高い歴史・文化の活用と農・住・工の機能調和による、個性豊かな地域づくり

- ◆生活基盤（道路、下水道等）の整備により住環境の改善を図るとともに、幹線道路沿道などにおいて、生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積を促し、生活利便性の向上を図ります。
- ◆美江寺宿などの歴史的景観や地域資源の保全・活用により、観光・交流機能を強化し、地域の活性化を図ります。
- ◆農地の保全による農業の振興と一団の工場の操業環境を維持するため、必要な都市計画制度の検討を行います。

3. 地域別構想編

中地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用		工業地	地域中東部、南東部
		沿道複合地	(主)岐阜巣南大野線バイパス沿い
		農地・集落地	上記以外
道路・交通	幹線道路	(主)岐阜巣南大野線バイパス	
		(一)曾井中島美江寺大垣線	
		(一)美江寺西結線	
	公共交通	鉄道	樽見鉄道(美江寺駅)
バス		岐阜バス(美江寺・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)	
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	巣南庁舎周辺地区
		健康づくり拠点・市民交流拠点	中ふれあい広場
		歴史・文化交流拠点	美江寺宿
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	中小学校等
		身近な健康・交流拠点	中ふれあい広場等の公園
		身近な歴史・文化拠点	美江寺宿

3. 地域別構想編

中地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備	・東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICへのアクセスを確保し、活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光・交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	交通結節機能の強化	・地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所やアクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【地域住民、事業者、市】
水・緑づくり	犀川、五六川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	農地の保全	・果樹園・花き生産農地、水田など優良農地を保全・活用します。	【地域住民、市】
市街地づくり	地域生活拠点の形成（県南庁舎周辺）	・生活利便施設の集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	土地利用のルール・利活用の検討（特定用途制限地域、工業導入地域等）	・無秩序な宅地開発を抑制するとともに、良好な住環境・営農環境と調和した適正かつ合理的な土地利用を誘導します。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	犀川、五六川等の河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、河川整備を促進します。	【県】
	美江寺宿の保全・活用	・歴史的な街並みや祭り等の伝統文化を保全するとともに、観光・交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、県、市】

3. 地域別構想編

中地域



凡例

住宅地（周辺・郊外居住）	地域生活拠点	幹線道路
工業地	歴史・文化交流拠点	補助幹線道路
沿道複合地	健康づくり拠点・市民交流拠点	その他の主要な生活道路
農地・集落地	主要な防災活動拠点	身近な防災拠点
河川	歩行者ネットワーク（歴史街道）の主軸	身近な健康・交流拠点
	歩行者ネットワーク（沿川等）の主軸	身近な歴史・文化拠点
		身近な自然・交流拠点
		その他の施設

<地域全般に関する施策>

安全な歩行空間の整備（全体総額169億円）
公共交通の充実（全体総額109億円）
身近な公園の整備（全体総額140億円）
果樹園・花き生産農地、水田など優良農地の保全・活用（全体総額141億円）
特定環境保全公共下水道の整備（全体総額141億円）
集落地の住環境の改善（全体総額165億円）
橋梁の耐震化（全体総額150億円）
建築物の耐震化・不燃化（全体総額150億円）
景観計画の策定（全体総額151.2億円）

■土地利用・都市施設等の現況

- ◆富有柿の発祥の地で果樹園や花きの農地、田園地帯が広がって、集落地が点在しています。
- ◆幹線道路の交差点周辺に商業施設が集積しています。工業導入地域として工場が点在しています。
- ◆都市計画道路は東海環状自動車道が計画されています。
- ◆多くの河川が流れ、良好な自然環境・親水環境を有しています。

■地域づくりの主要課題

- ◆巢南庁舎周辺などにおける生活に身近な機能・施設の誘導・集積
- ◆東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICをつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成
- ◆果樹園や花き生産農地、水田等の計画的な保全・整備

■地域づくりの方針

交通条件の高まりを活かした都市機能強化と、特色ある農村環境・自然環境の共生による、活力ある地域づくり

- ◆ 巢南庁舎周辺において、公共公益施設や生活に身近な商業・サービス施設、医療・福祉施設等の集積を図り、西部の拠点としてふさわしい地域生活拠点の形成を図ります。
- ◆ 将来、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸ICに近接するという地域性とアクセス道路である主要地方道岐阜巢南大野線バイパスの整備に伴う交通条件を活かし、産業の集積を図ります。
- ◆ 河川（揖斐川、根尾川、犀川等）の自然環境、柿畑などの果樹園や花き農地、水田等の農村風景、伊久良河宮跡などの歴史資源等を保全・活用し、地域の魅力向上を図ります。

3. 地域別構想編

西地域

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	工業地	： 地域中部、南部	
	沿道複合地	： (主)岐阜県南大野線バイパス沿い	
	農地・集落地	： 上記以外	
	自然環境地	： 揖斐川	
道路・交通	幹線道路	(主)岐阜県南大野線バイパス (一)曾井中島美江寺大垣線	
	公共交通	バス	： 岐阜バス(美江寺・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	： 県南庁舎周辺地区
		健康づくり拠点・市民交流拠点	： 西ふれあい広場、県南庁舎周辺
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	： 西部複合センター等
		身近な健康・交流拠点	： 西ふれあい広場等の公園
		身近な歴史・文化拠点	： 伊久良河宮跡
		身近な自然・交流拠点	： 犀川(サウ)

3. 地域別構想編

西地域

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路・交通づくり	東海環状自動車道の整備	・活発な産業活動や交流拡大につながる広域的な幹線道路として、整備を促進します。	【国】
	主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備	・東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 IC へのアクセスを確保し、活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光・交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	県南庁舎周辺における交通結節機能の強化	・地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所、アクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【事業者、市】
水・緑づくり	犀川、長護寺川等の河川環境（桜並木・緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	農地の保全	・果樹園・花き生産農地、水田など優良農地を保全・活用します。	【地域住民、市】
市街地づくり	地域生活拠点の形成（県南庁舎周辺）	・生活利便施設を集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。 ・市民の憩い、ふれあい、健康づくり等を支える拠点的な市民交流拠点を整備します。	【地域住民、事業者、市】
	土地利用のルール・利活用の検討（特定用途制限地域、工業導入地域等）	・無秩序な宅地開発を抑制するとともに、良好な住環境・営農環境と調和した適正かつ合理的な土地利用を誘導します。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	犀川、長護寺川等の河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、河川整備を促進します。	【県】
	伊久良河宮跡・富有柿の母木等の保全・活用	・歴史的資源として保全し、観光・交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、事業者、市】
	防災活動拠点の防災機能の向上（県南庁舎等）	・防災活動拠点である公共公益施設などの防災機能の向上を図ります。	【市】

3. 地域別構想編

西地域

＜地域全般に関する施策＞

- 安全な歩行空間の整備 (全体構想編P52)
- 公共交通の充実 (全体構想編P52)
- 身近な公園の整備 (全体構想編P49)
- 果樹園・花き生産農地、水田など優良農地の保全・活用 (全体構想編P41)
- 集落地の住環境の改善 (全体構想編P5)
- 橋梁の耐震化 (全体構想編P5)
- 建築物の耐震化・不燃化 (全体構想編P5)
- 景観計画の策定 (全体構想編P5・52)



凡例

- | | | |
|--------|--------------------|-------------|
| 工業地 | 地域生活拠点 | 広域幹線道路 |
| 沿道複合地 | 健康づくり拠点・市民交流拠点 | 幹線道路 |
| 農地・集落地 | 主要な防災活動拠点 | 幹線道路(構想区間) |
| 自然環境地 | 歩行者ネットワーク(歴史街道)の主軸 | 補助幹線道路 |
| 河川 | 歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸 | その他の主要な生活道路 |
| | | 身近な防災拠点 |
| | | 身近な健康・交流拠点 |
| | | 身近な歴史・文化拠点 |
| | | 身近な自然・交流拠点 |
| | | その他の施設 |

4. 今後のスケジュール

都市計画マスタープランの今後の流れ

年度	月	庁内調整会議	市民意向聴取	都市計画審議会	その他
H29	4～6月	<ul style="list-style-type: none">・部会協議(案全体)・委員会協議(案全体)			<ul style="list-style-type: none">・市議会報告・県協議
	7～9月		<ul style="list-style-type: none">・パブリックコメント意見募集(案全体)		
	10～12月			<ul style="list-style-type: none">・審議会審議(案全体)	<ul style="list-style-type: none">・市議会議決
	1～3月				<ul style="list-style-type: none">・策定告示